２０２４年度

シラバス

１．実務経験（者）について

２．１学年　講義、実習シラバス

３．２学年　講義、実習シラバス

広島歯科技工士専門学校

【実務経験のある教員とは】

令和２年４月から高等教育の就学支援新制度の施行に伴い、シラバスに実務経験のある教員（本校に就任前の経歴を有する者、あるいは現職）による授業科目であることを表記することになりました。
本校のシラバスには実務経験のある教員の種別を以下のように表記しています。

【実務教員の種別】

シラバスの表記	実務経験の種別	実務経験の説明
大学	大学教員	大学、短期大学において教員の勤務経験を有する者。
学校	初等中等教育の学校	教員養成課程の授業科目を担当する教員で、初等中等教育の学校（幼稚園、小学校、中学校、高等学校）で、教員の勤務経験を有する者、
官公庁	官公庁	官公庁の勤務経験を有する者。
民間企業	民間企業	民間企業の勤務経験を有する者。
自営	自営業	歯科医院、歯科技工所以外の自営業であった者。
病院	大学病院、総合病院	国家資格を有し、病院の歯科領域において臨床経験を有する者。
歯科医院	開業医、勤務医	国家資格を有し、歯科医院において臨床経験を有する者。
歯科技工所	歯科技工所勤務（自営も含む）	国家資格を有し、歯科技工所において臨床経験を有する者。

【教員の一覧表】

授業科目	講義、実習の別	担当教員名	実務経験の種別	備考
外国語（英語）	講義	齋藤　慶子	学校	
造形美術概論	講義	田中　聡	自営	
情報リテラシー	講義	永岡　裕康	民間企業、大学	
コミュニケーション学	講義	金岡　敬子	大学	
関係法規	講義	楳林　正夫	官公庁、病院、歯科医院	
歯科技工学概論	講義	新谷　英章	大学、病院	
		宮田　和彦	歯科技工所	
		妹尾　輝明	病院、歯科技工所、歯科医院	
歯の解剖学	講義	宮田　和彦	歯科技工所	
	実習	宮田　和彦	歯科技工所	
		木村　卓也	病院	
		杉原　睦美	歯科技工所	
顎口腔機能学	講義	妹尾　輝明	病院、歯科技工所、歯科医院	
	実習	荒谷　康徳	歯科技工所	
		山﨑　浩希	歯科技工所	
歯科理工学	講義	木村　卓也	病院	
	実習	木村　卓也	病院	
		杉原　睦美	歯科技工所	
有床義歯技工学	講義	赤川　安正	大学、病院	
	実習	杉原　睦美	歯科技工所	
		木村　卓也	病院	
歯冠修復技工学	講義	赤川　安正	大学、病院	
	実習	木村　卓也	病院	
		杉原　睦美	歯科技工所	
矯正歯科技工学	講義	小笠原　伯宏	大学、病院	
	実習	小笠原　伯宏	大学、病院	
		杉原　睦美	歯科技工所	
小児歯科技工学	講義	香西　克之	大学、病院	
	実習	香西　克之	大学、病院	
		木村　卓也	病院	
歯科技工実習	実習	荒谷　康徳	歯科技工所	
		山﨑　浩希	歯科技工所	
		上原　靖裕	歯科技工所	

シラバス（講義計画）

2024年度

学 科 目	外国語（英語）	学年	１年	学期	前期
担 当 者	齋藤慶子	単位数	２単位	１５回	３０時間
実務経験	学校				
講義目的 到達目標	文法の基本を復習する。 ロサンゼルスを舞台に４人の若者の生活を通して，やさしい英語を学ぶ。 歯の名前，構造の英語名称を覚える。 クラウンの製作過程，義歯の制作過程の英語表現を覚える。				
指導上の 留 意 点	ＣＤを用いて、ネイティブの英語を聴く機会を増やす。 歯科技工士に関連する英語表現を多く学べるようにする。				
評価方法	授業態度(30%)　小テスト(10%)　学期末試験(60%)				
	何らかの事情で本試験を受けなかった場合の「追試験」は本試験より難易度が上がる。				
使用教材	We Love L.A.!(金星堂)　　プリント				

講義内容

日付	回数	講義項目	備　　考	
4月18日	1	Welcome to L.A.	be動詞	
4月25日	2	I love fruit!	可算名詞 / 不可算名詞	歯の名前①
5月9日	3	Campus life	一般動詞（現在時制）	歯の名前②
5月16日	4	Lunchtime	代名詞	復習
5月23日	5	First date	一般動詞　（過去時制）	小テスト
5月30日	6	Where's Linda?	進行形	歯の構造
6月6日	7	Andy's news	will / be going to	復習
6月13日	8	Shopping in Santa Monica	助動詞	小テスト
6月20日	9	Moving day	前置詞	クラウン製作
6月27日	10	A beautiful view	現在完了	復習
7月4日	11	Sunday fun	比較	小テスト
7月11日	12	Seeing stars	WH疑問文	義歯の制作
7月18日	13	Buying food for a BBQ	動名詞 / 不定詞	復習
9月5日	14	Putting on a new face	接続詞	小テスト
9月12日	15	Nice surprise	受動態	
9月27日		前期試験		

シラバス（講義計画）

2024年度

学 科 目	造形美術概論	学年	１年	学期	前期
担 当 者	田中　聡	単位数	１単位	８回	１６時間
実務経験	自営				
講義目的 到達目標	色彩と形に対する理解を深め、歯科技工と造形美術の関係性に気づき、美的感覚を磨く意識を高める。 歯科技工に必要な色彩と形の理論的知識の習得と共に、感覚的理解と造形的技術の習得を目標とする。				
指導上の留意点	歯科技工の具体例を挙げつつ解説する。 学生の理解度・習熟度により重要度の高い項目は繰り返し解説し、プラス加点課題も設定する。				
評価方法	課題の完成度・技術度・芸術度・努力度に、課題の提出状況や受講態度を加味して評価する。				
使用教材	（テキスト）歯冠色のアート　（教材）プリント課題 （準備物）鉛筆、色鉛筆、絵の具、配色カード199a・演習台紙・はさみ・糊				
使用教室	第二教室（5F）、5階実習室				

講義内容

月	日	回数	講義項目	備　　考
5月	13	1	色の知覚	色と光の関係および色の三属性を解説し、 色の基本的な項目の理解を促す。
	20	2	色の表示方法 混色1（理論）	色の三属性を基に色の表示方法（表色系）を解説する。 混色の基本を解説する。
	27	3	色の知覚的効果 照明光源	色の知覚的効果を解説する。 歯冠を好ましく見るための照明の知識を解説する。
6月	3	4	混色２（演習） （色相環/グレイスケール）	色の三属性の感覚的理解と、色再現の技術的習得のため、絵の具を使い演習を行う。
	10	5	デッサン１（演習）	基本的な形態のデッサンを行い、立体的表現についての理解を促す。
	17	6	デッサン２（演習）	右上顎中切歯（石膏）のデッサンを通し、観察の大切さや立体的表現についての理解を促す。
	24	7	歯冠彩色スケッチ①（演習）	歯冠の色と形をスケッチすることで、観察の大切さや人それぞれの個性があることの理解を促す。
7月	1	8	歯冠彩色スケッチ②（演習）	歯冠の色と形をスケッチすることで、観察の大切さや人それぞれの個性があることの理解を促す。

シラバス（講義計画）　　2024 年度

学 科 目	情報リテラシー	学年	１年	学期	前期
担 当 者	永岡　裕康	単位数	１単位	８回	１６時間
実務経験	民間企業、大学				
講義目的	PCとインターネットを活用したレポート作成や円滑なコミュニケーションができる基本的な知識と技術を身に付ける				
到達目標	・PC、ネットワークを安全に活用する知識と技術を身に付けている ・Wordの基本的な操作ができる ・Excelを使って簡単な表とグラフを作成できる				
指導上の留 意 点	実践を中心に指導する USBメモリーを持参すること				
評価方法	小課題50%、最終レポート50%で評価する				
使用教材	随時テキストを配布する				
使用教室	第１ＣＡＩ教室				

講義内容

月	日	回数	講義項目	備　　考
4	17	1	パソコンの基本	
			パソコンの構成とキーボード	
	24	2	Internet基礎とWordの操作1	
			インターネットと入力、保存	
5	8	3	Wordの操作2	
			ヘッダ、フッタ、目次	
	15	4	Excelの操作1	
			Excelの特徴、入力、保存	
	22	5	Excelの操作2	
			数値の入力、数式、書式	
	29	6	Excelの操作3	
			関数、グラフ	
6	5	7	WordとExcelの連携	
			連携の種類	
	12	8	まとめと最終レポート	

シラバス（講義計画）

2024年度

学 科 目	コミュニケーション学	学年	１年	学期	後期
担 当 者	金岡　敬子	単位数	1単位	8回	１６時間
実務経験	大学				
講義目的 到達目標	社会生活は、人と人とのコミュニケーションによって営まれています。多様な価値観をもった人々と円滑にコミュニケーション学を取ることができるように、「聞く力」「話す力」「自分の考えを説明する力」など必要な知識や能力を身に付けます。目的に合わせた表現方法を学ぶことは、職場で求められるスキルです。講義では、職場で必要なマナー・接遇用語や敬語表現も身に付くよう実践演習やグループワークも取り入れて、気配りのできる人材育成を目指しますので、積極的に授業に参加してください。				
指導上の 留意点	主体的に授業に取り組む姿勢が大切です。毎回の授業では、自分の考えを相手に分かりやすく伝え、積極的にコミュニケーションを取る姿勢で臨んでください。				
評価方法	授業内での積極性、小テスト、課題提出、まとめテストによる総合評価				
使用教材	毎回教材プリントを配布します。（フラットファイルの準備をしてください。）				
使用教室	第二教室（５F）、				

講義内容

月	日	回数	講義項目	備　　考
10月	2	1	オリエンテーション コミュニケーションの定義と種類について	
	9	2	言語・非言語コミュニケーションについて	
	16	3	接遇とマナー（話し言葉の基本と立ち振る舞い）	
	23	4	対人コミュニケーション（言葉遣いと敬語表現）	
	30	5	適切な言葉使いによる伝達方法	
11月	6	6	応対のコミュニケーション技法	
	13	7	プレゼンテーションによる自己表現・発表	
	20	8	まとめと実践演習（傾聴・承認・質問法）	

シラバス（講義計画）

2024年度

学 科 目	関係法規	学年	２年	学期	前期
担 当 者	楳林　正夫	単位数	1単位	7回	１４時間
実務経験	公官庁、病院、歯科医院				
講義目的 到達目標	1. 歯科技工士法を理解する 2. 歯科関連法規を理解する				
指導上の 留意点	歯科技工士をとりまく環境を理解する				
評価方法	定期試験の結果				
使用教材	最新歯科技工士教本　歯科技工管理学　歯科技工士国家試験問題集				
使用教室	第一教室（４F）				

講義内容

月	日	回数	講義項目	備　　考
５月	8	1	法の概念、衛生行政	法と行政の関連に注意
	15	2	医療関連法規と医療関連職種	医師法、薬剤師法等
	22	3	保健衛生法規	薬事法、予防衛生、社会保障
	29	4	歯科医療関係法規	歯科医師法、歯科衛生士法
６月	5	5	歯科技工士法①	総則、免許、試験
	12	6	歯科技工士法②	業務
	19	7	歯科技工士法③	歯科技工所、まとめ
9月	27		前期試験	

シラバス（講義計画）　　２０２４年度

学 科 目	歯科技工学概論	学年	１年	学期	前期
担 当 者	新谷英章　宮田和彦	単位数	１単位	７回	１４時間
実務経験	大学(歯学部) 附属病院、歯科技工所				
講義目的 到達目標	①歯科医療と歯科技工の概念を理解し、医療人としての心構えを理解できる。 ②歯と口腔の機能、疾患の概要など咀嚼に関する生物学的な知識について理解できる。 ③他の学科に先立って、歯科医療と歯科技工の概念を会得する。				
指導上の 留 意 点	歯科技工業界の沿革や今後の動向についても触れる。				
評価方法	出席状況、授業態度、試験の成績を総合的に評価する。				
使用教材	最新歯科技工士教本「歯科技工管理学」（１歯科技工学概論）				
使用教室	５階第２教室				

講義内容

月	日	回数	講義項目	備　　考
４月	12	1	歯科医療と歯科技工（新谷）	①医療と歯科医療 ②歯科医療の目的 ③歯科医療機関の役割 ④歯科医療機関職種 ⑤歯科技工と歯科技工学
	19	2	顔・口腔組織の形態と機能(新谷)	①歯の形態と機能 ②口腔の形態 ③口腔の機能
	26	3	歯科疾患と周囲組織の変化(新谷)	①歯の異常 ②不正歯列・咬合の異常 ③歯及び硬組織疾患 ④歯髄の疾患 ⑤歯周組織の疾患 ⑥顎関節症
5月	10	4	歯科疾患と周囲組織の変化(新谷)	①舌及び口腔軟組織疾患 ②顎骨及び顔面の疾患 ③歯の喪失に伴う周囲組織の変化 ④歯科疾患の現状
	17	5	歯科技工士の役割（新谷）	①歯科技工士の業務　②歯科技工士の倫理
	24	6	歯科技工士の沿革（宮田）	③歯科技工士の現状　④歯科技工の沿革
９月	7	7	前期試験対策（まとめ）	
	27		前期試験	

※この科目の単位数は、１年次に「２単位」（前期７回、後期に８回実施します。）

シラバス（講義計画）

２０２４年度

学 科 目	歯科技工学概論	学年	１年	学期	後期
担 当 者	妹尾　輝明	単位数	１単位	８回	１６時間
実務経験	病院・歯科技工所・歯科医院				
講義目的 到達目標	1. 口腔の機能、疾患等と歯科技工の概要に関する知識を習得する。 2. 歯科技工業務に必要な管理と運営、作業環境に関する知識を習得する。				
指導上の留意点	教本の内容を基に、必要に応じてスライドを併用して授業を行う。 適宜、課題を提示しレポート提出を課す。				
評価方法	期末試験の成績とレポートの成績を総合して評価する。				
使用教材	最新歯科技工士教本「歯科技工管理学」				
使用教室	５階第２教室				

講義内容

月	日	回数	講義項目	備　　考
10月	4	1	歯科臨床と歯科技工	硬組織並びに歯の欠損と歯科技工
	11	2	歯科臨床と歯科技工	歯周疾患並びに歯列不正と歯科技工
	18	3	歯科臨床と歯科技工	口腔外科疾患並びに顎関節症と歯科技工
	25	4	歯科臨床と歯科技工	スポーツ歯科・歯科法医学と歯科技工
11月	8	5	歯科臨床と歯科技工	歯科技工のデジタル化
	15	6	歯科技工の管理と運営	歯科技工の作業環境
	22	7	歯科技工の管理と運営	歯科技工業務の運営
12月	6	8	歯科技工の管理と運営	歯科技工における衛生管理

シラバス（講義計画）

2024年度

学科目	歯の解剖学	学年	1年	学期	前期
担当者	宮田　和彦	単位数	2単位	15回　30時間	
実務経験	歯科技工所				
講義目的 到達目標	歯の基礎的知識及び歯の形態的特徴を理解することを目的とし、その知識を活かして歯の鑑別が的確に行えること。また、歯科技工技術に反映できることを目標とする。				
指導上の 留意点	天然歯あるいは模型を使い、歯の特徴、歯の鑑別をより理解できるように工夫する。				
評価方法	定期試験および歯の鑑別試験の成績を加味して評価する。				
使用教材	最新歯科技工士教本「口腔・顎顔面解剖学」、独自の資料、パワーポイント、天然歯				
使用教室	5階第2教室				
講義内容					

月	日	回数	講義項目	備　考
4月	11	1	歯の概説	歯の外形、歯種、歯の名称、歯の記号
	15	2	歯の概説	歯の方向用語,形態用語
	22	3	歯の概説	歯の鑑別（歯種、上下、順位、左右）
5月	13	4	歯の概説	歯の鑑別（三大徴候以外の特徴）
	20	5	歯の概説	歯の起源（DVD鑑賞：歯の再石灰化）
	27	6	各歯の特徴、比較	上顎切歯、下顎切歯
6月	3	7	各歯の特徴、比較	上下顎切歯、上下顎犬歯
	10	8	各歯の特徴、比較	上顎小臼歯
	17	9	各歯の特徴、比較	下顎小臼歯，上下顎小臼歯
	24	10	各歯の特徴、比較	上顎大臼歯
7月	1	11	各歯の特徴、比較	上顎大臼歯
	8	12	各歯の特徴、比較	下顎大臼歯
	22	13	各歯の特徴、比較、乳歯の特徴	下顎大臼歯
9月	2	14	歯の異常形態、まとめ	
	9	15	歯の鑑別試験	
	30		定期試験	

シラバス（講義計画）

2024年度

学科目	歯の解剖学	学年	1年	学期	後期
担当者	宮田　和彦	単位数	2単位	15回　30時間	
実務経験	歯科技工所				
講義目的 到達目標	歯の発生、歯の組織・構造、口腔の解剖学的、生物学的知識を習得できることを目的とし、 これらの知識を理解し、歯科補綴物の製作に活かすことを目標とする。				
指導上の 留意点	色々な教材を使用し、学生が授業への参画意欲を持って望めるように工夫する。				
評価方法	定期試験の成績、レポートの提出を加味して評価する。				
使用教材	最新歯科技工士教本「口腔・顎顔面解剖学」、独自の資料、パワーポイント、頭蓋骨模型、DVD				
使用教室	5階第2教室				
講義内容					

月	日	回数	講義項目	備　考
10月	7	1	歯列と咬合	
	21	2	歯の発生	歯の発生から萌出まで
	28	3	歯の組織	エナメル質
11月	11	4	歯の組織	象牙質、セメント質
	18	5	歯の組織	象牙質、セメント質
	21	6	歯周組織	歯髄、歯根膜、歯槽骨、歯肉
	25	7	頭蓋骨	脳頭蓋骨（後頭骨、蝶形骨、頭頂骨、側頭骨 前頭骨、篩骨、鋤骨、下鼻甲介、涙骨、鼻骨） 顔面頭蓋骨（上顎骨、頬骨、口蓋骨、下顎骨、舌骨）
12月	2	8	頭蓋骨	
	9	9	頭蓋骨	
	16	10	口腔周囲の筋	浅頭筋、深頭筋　（DVD鑑賞：嚥下と筋）
	19	11	口腔周囲の筋	深頭筋、舌骨上筋、舌骨下筋
1月	15	12	顎関節	構造、下顎の運動
	20	13	口腔、唾液腺、舌	鼻腔、口腔
	27	14	まとめ	
	31	15	まとめ	
2月	7		定期試験	

シラバス（実習計画）　　2024年度

学 科 目	歯の解剖学実習	学年	1年	前期・後期
担 当 者	宮田和彦、杉原睦美	4単位	91回　182時間	
実務経験	歯科技工所			
課　題	【前期】 歯形彫刻　1⌋、3⌋、4⌋、4⌉、5⌉、6⌋、6⌉　の各2本、1⌋6⌉の模擬試験 【後期】 歯形彫刻　4⌉、6⌉の反復			
実習目的	①各歯の形態的特徴を覚え、立体的に表現できる彫刻技術を身につける。 ②彫刻技法は歯冠修復補綴物製作の基礎であるので、歯形彫刻を通して、歯種、上下、順位、左右の鑑別　能力を養う。 ③器具、材料の取り扱い方や作業姿勢、主指の使い方などの歯科技工技術の基本を習得する。			
到達目標	① 右側上下14本の中で、特に特徴ある7本（1⌋、3⌋、4⌋、4⌉、5⌉、6⌋、6⌉）の歯の形態を彫刻できる。 ② 前期実技試験　1⌋、6⌉を通して、時間内に彫刻できる。 ③ 後期実技試験　4⌋、6⌋を通して、時間内に彫刻できる。			
指導上の留意点	①初期の段階では、特に正しいナイフおよび手指の使い方を指導する。 ②スケッチ（展開図）を理解できるように指導する。 ③彫刻手順が理解できるように指導する。 ④常に作業途中の器具の使い方、手指の使い方に注意をはらい、その都度、指導する。（作業途中の動作に目を配る）			
評価方法	課題の完成度・技術度、課題の提出状況、および定期試験を加味して評価する。			
使用教材	スケッチ見本（本校独自）、彫刻手順（本校独自）、完成前模型（本校独自） 彫刻見本（全国歯科技工士教育協議会）			
使用器具、材料	①器具　ラバーボウル、石膏スパチュラ、鉛筆、ノギス、切り出しナイフ、彫刻刀（エバンス）、ワックス形成器、デザインナイフ、サンドペーパー、タオル ②材料　普通石膏、石膏棒（15×15×100㎜の角柱を形成）、サンドペーパー、モデルソープ			
実習内容	＊実習スケジュールは別表に示す。 ＊歯のスケッチ（上下左右14歯）は宿題課題とする。			

歯の解剖学実習

2024 年度（前期）

月	日	曜	実習内容	コマ	時間数
4	9	火	石膏ブロック、彫刻練習用模型作製	2	4
	16	火	1⌋ 彫刻開始　スケッチ説明　●ブロック採寸方法 【デモ】 唇側面の彫刻 （完成前の模型使用）	2	20
	17	水	【デモ】 舌側面の彫刻 （完成前の模型使用） 【デモ】 ステップ（1）から開始、面カット、唇舌側の彫刻	2	
	23	火	【デモ】 面カット～ステップ（8）（9） 【デモ】 ステップ（10）（11）	2	
	24	水		2	
	30	火	1⌋ 彫刻提出（2本）	2	
5	1	水	3⌋ 彫刻開始 スケッチ説明 【デモ】 唇側面の彫刻 （完成前の模型使用）	2	20
	7	火	【デモ】 舌側面の彫刻 （完成前の模型使用）	2	
	8	水		2	
	14	火		2	
	15	水	3⌋ 彫刻提出 （2本）	2	
	21	火	4⌋ 彫刻開始 スケッチ説明 【デモ】 咬合面の彫刻 （完成前の模型使用）	2	20
	22	水	【デモ】 ステップ（13）～（16）	2	
	28	火		2	
	29	水		2	
6	4	火	4⌋ 彫刻提出 （2本）	2	
	5	水	4⌉ 彫刻開始 スケッチ説明 【デモ】 咬合面の彫刻 （完成前の模型使用）	2	14
	11	火		2	
	12	水		2	
	18	火	4⌉ 彫刻提出 （2本）	1	
			5⌉ 彫刻開始 スケッチ説明 【デモ】 咬合面の彫刻 （完成前の模型使用）	1	16
	19	水	●各自の平行模型の作製	2	
	20	木		1	
	25	火		2	
	26	水	5⌉ 彫刻提出 （2本）	2	
	27	木	6⌋ 彫刻開始 スケッチ説明 【デモ】 咬合面の彫刻 （完成前の模型使用）	1	18
7	2	水		2	
	3	木		1	
	4	木		1	
	5	金		2	
	9	火	6⌋ 彫刻提出 （2本）	2	
	10	水	6⌉ 彫刻開始 スケッチ説明 【デモ】 咬合面の彫刻 （完成前の模型使用）	1	18
	11	木		1	
	12	金		1	
	16	火		2	
	17	水		1	
	23	火		1	
	24	水	6⌉ 彫刻提出	2	
8			夏季休暇		
9	3	火	1⌋ 彫刻　面カット～近遠心・頬舌　●スケッチ ＊夏季課題の点検	2	24
	4	水	1⌋ 彫刻　外形～完成	1	
	5	木	6⌉ 彫刻　面カット～近遠心・頬舌　●スケッチ	1	
	10	火	6⌉ 彫刻　外形～完成　＊夏季課題の点検	1	
	11	水	1⌋、6⌉ 模擬試験 Ⅰ	1	
	12	木	1⌋、6⌉ 模擬試験 Ⅰ の修・再製	1	
	17	水	1⌋、6⌉ 模擬試験 Ⅱ	2	
	19	木	1⌋、6⌉ 模擬試験 Ⅱ の修・再製	1	
	20	金	1⌋、6⌉ 模擬試験 Ⅲの受験、課題等の点検	2	
	26	木	1⌋ 前期彫刻試験		
	30	月	6⌉ 前期彫刻試験		
			合計	77	154

期間	実習内容
6/19～ 7/24	＊各自の平行模型の作製 ＊石膏ブロック作製 ① 前期試験用　4本 ② 9月授業分　6本 ③ 夏期課題用　8本 合 計　18本

＊夏季課題（提出日：9月2日）
① 752⌋　7321⌉ 彫刻 （各1本）
② 1⌋、6⌉ 彫刻 （各2本）

歯の解剖学実習

2024年度（後期）

月	日	曜	実 習 内 容	コマ	時間数	
10	4	金	6⌉ ＊スケッチ （描記→点検→修正） 彫刻 Ⅰ	1	2	＊石膏ブロック作製 6本 11/22～使用
	11	金	6⌉ 彫刻 Ⅱ ※次回までに〔ⅠⅡ〕のうち1本修正（合格）	1	2	
	18	金	6⌉ ＊スケッチ （描記→点検→修正） 彫刻 Ⅲ	1	2	
	25	金	6⌉ 彫刻 Ⅳ ※次回までに〔ⅢⅣ〕のうち1本修正（合格）	1	2	＊コンテスト用ブロック作製 1本 11/8使用 ※石膏が違うので注意！
11	1	金	6⌉ ＊彫刻 Ⅴ ※〔ⅠⅡ〕〔ⅢⅣ〕の修正（合格）	1	2	
	8	金	6⌉ ＊彫刻 Ⅵ	1	2	
	15	金	6⌉ ★カービングコンテスト ※次回までに修正（合格）	1	2	
	22	金	4⌋ ＊スケッチ 模擬試験 彫刻 Ⅰ ※次回までに修正（合格）	1	2	
12	6	金	6⌋ ＊スケッチ 模擬試験 彫刻 Ⅱ ※次回までに修正（合格）	1	2	＊石膏ブロック作製 冬休み課題用 2本 ＊石膏ブロック作製 後期試験用 4本
	13	金	4⌋ ＊スケッチ 模擬試験 彫刻 Ⅱ ※次回までに修正（合格）	1	2	
	19	金	4⌋、6⌋ ＊ 彫刻 ⅠⅡの修正	1	2	
1	10	金	4⌋、6⌋ 彫刻 Ⅲ （受験）	1	2	＊冬季課題 ① 4⌋、6⌋ 彫刻 （各2本）
	17	金	★冬季課題、点検、修正	1	2	
	24	金	★特別授業	1	2	
2	5	水	4⌋ 後期彫刻試験			
	7	金	6⌋ 後期彫刻試験			
			合計	14	28	

シラバス（講義計画）　2024度

学 科 目	顎口腔機能学	学年	1年・(2年)	学期	(前期)・後期
担 当 者	妹尾輝明	時間数	10回（20時間））		
講義目的 到達目標	生体の顎口腔系の組織に何らかの理由で実質欠損が生じた場合、その形態や機能等を何らかの方法で回復、改善する必要がある。 そのような場合、歯科技工士は歯科医師の指示に従って補綴装置等を製作するが、それらの装置は顎口腔機能に調和し、生体に害を与えいものでなければならない。 そこで、歯科技工士は補綴装置等を製作するにあたっては、顎口腔機能の基礎的、臨床的知識及びそのメカニズム等を熟知すると共に、関連する咬合器の構造や使い方を理解しておく必要がある。				
指導上の 留 意 点	1. 各々の講義で毎回、重要事項が出てくるので、欠席しないように努めること。 2. ５回目と９回目の講義の時に小テストを実施し、理解度をチェックする。 3. 予習と復習を必ず行うこと。				
評価方法	期末テストと小テストの結果を総合して評価する。				
使用教材	教本の顎口腔機能学、プリント（咬合に関する基礎知識）				

講義内容

月 日	回数	講義項目	備　　考
5月10日	1	顎口腔系の構成要素（概要）	
5月17日	2	顎口腔系の機能（概要）	
5月24日	3	下顎位	
5月31日	4	下顎運動　その１	
6月7日	—	休講	学校行事
6月14日	5	下顎運動　その２	小テスト①
6月21日	6	歯の接触様式　その１	
6月28日	7	歯の接触様式　その２	
7月5日	8	咬合器	
7月12日	9	咬合検査と顎機能障害	小テスト②
7月19日	10	総括	試験問題の提出期限は9/13まで
9月27日	11	前期試験	試験監督は専任教員が行う

シラバス（実習計画）

2024年度

学 科 目	顎口腔機能学	学年	2年	学期	前期
担当者	荒谷　康徳　山﨑　浩希	単位数	1単位	25回	（50時間）
実務経験	歯科技工所で勤務				
実習課題	ワックスコーンテクニック・半調節性咬合器の操作・マウスガード				
講義目的 到達目標	①顎口腔系の機能、歯の形態、咬合面の各要素を理解する。 ②咬合器の取扱い方を教え、その基本を習得させる。				
評価方法	実習課題などの提出物の成績に、レポートなどの成績を加味して評価				
使用教材	最新歯科技工士教本　顎口腔機能学　　本校作成の実習帳				
使用教室	歯科理工学検査室　　4F　技工実習室				

実習回数	実習時間	実習期間	実習課題
19	38	4/10～4/24	1. ワックスコーンテクニック 上顎右側第一大臼歯のワックスアップ 上下顎左側第二小臼歯、上下顎左側第一大臼歯のワックスアップ
2	4	5月20日	2. マウスガード
4	8	6/4、6/11	3. 半調節性咬合器の使用操作
25	50		

シラバス（実習内容）

2024年度　前期

実習課題	1. ワックスコーンテクニック
実習目的 到達目標	上下顎の大臼歯、小臼歯に調和の取れた咬合面形態を形成するための基礎的事項を学ぶ ワックスの取扱い。各パーツを盛り上げながら咬合面のワックスアップ
指導上の 留意点	レポート、塗り絵あり
学校準備品 使用材料	ゴム枠　DMU－U,L 、ユニティー咬合器、色鉛筆 カラーワックス4色（各1/2本）

実習回数	実習時間	実習期間		実習ステップ （上顎のみ）	デモ
6	12	4/10～4/12	1	作業用模型の製作	↑
			2	咬合器装着	前日までに
			3	標示線記入	4/10 ③
			4	咬合面削除	↓
			5	基準線及び咬頭、窩の記入	↓
			6	カスプコーンの植立	4/10 ④
			7	マージナルリッジ	4/12 ①
			8	隆線の形成	4/12 ②
			9	副隆線・副溝の形成	4/12 ③
			10	完成	
				実習ステップ（上下顎）	
13	26	4/15～4/24	1	標示線記入	
			2	咬合面削除	
			3	基準線及び咬頭、窩の記入	4/15 ①
			4	カスプコーンの植立	4/15 ②
			5	マージナルリッジ	4/15 ④
			6	隆線の形成	4/17 ①
			7	副隆線・副溝の形成	
			8	完成	

シラバス（実習内容）

2024年度　前期

実習課題	2. マウスガードの製作				
実習目的 到達目標	各自の口腔内模型でマウスガード製作方法を習得				
指導上の 留意点	半調節性咬合器と併用				
学校準備品 使用材料	モデルキャプチャー、キャプチャーシート4㎜ 金冠はさみ　マウスガードフィッシャー				
実習回数	実習時間	実習期間		実習ステップ	
2	4	5月20日	1	印象採得	
			2	模型製作	5/20 ①
			3	マウスガードの設計	↓
			4	分離材の塗布	↓
			5	シートの形成	↓
			6	シートのトリミング	↓
			7	咬合調整	↓
			8	研磨と仕上げ	↓

シラバス（実習内容）

2024年度　前期

実習課題	3. 半調節性咬合器の使用操作&マウスガードの製作
実習目的 到達目標	各自の口腔内模型を使用し、顔弓を用いて咬合器に模型装着
指導上の 留意点	2人1組で実習 マウスガードの咬合調整含む
学校準備品 使用材料	デンタータス咬合器・顔弓

実習回数	実習時間	実習期間		実習ステップ （上顎のみ）	デモ
4	8	6/4、6/11	1	印象採得	
			2	模型製作1	
			3	マウスガードの製作	↓
			4	模型製作2　スプリットキャスト	1週間前
			5	基準点の設定	初日①
			6	顔弓の記録	↓
			7	咬合器装着　上顎	初日②
			8	咬合器装着　下顎	2日目①
			9	チェックバイト採得	↓
			10	矢状顆路角の測定	↓
			11	側方顆路角の測定	↓
			12	マウスガードの調整・試適	2日目②
			13	咬合器の点検・掃除	↓

シラバス（講義計画）　　2024年度

学 科 目	歯科理工学	学年	1年	学期	前、後期
担 当 者	木村卓也	単位数	7単位	53回	106時間
実務経験	病院				
講義目的 到達目標	《目的》歯科材料や器具・器械とそれらを使った歯科成型法について、生体全体の観点から広汎にとらえ、歯科技工の理論と技術を支える。歯科材料、器具、器械の理論を取り扱い、その臨床応用によって人類の健康と福祉に貢献する。 《目標》歯科材料、器具・器械の理論を学び、その物理的、化学的および生物学的性質を把握する。歯科材料、器具・器械の科学的な取り扱い技術を理解・修得する。さまざまな器具・器械を駆使し、各種材料の成型法を理解・修得する。				
指導上の留意点	各種材料、器具・器械について大まかな成型法の説明。次いで成分・性質などの詳細を説明する				
評価方法	期末試験の結果を成績とする				
使用教材	最新歯科技工士教本　歯科理工学　第2版　全国歯科技工士教育協議会編集				
使用教室	第二教室				

講義内容

月	日	回数	講義項目	備　　考
4月	12	1	歯科技工と歯科理工学	歯科理工学の意義と目的・歯科の果たす役割　、歯科成型法・歯科技工の安全と環境・歯科用装置の製作過程
	18	2	模型材	所要性質、石膏の種類、石膏の一般的性質（硬化反応）
	19	3	模型材	石膏の一般的性質（混水比・硬化時間）
	25	4	模型材	石膏の一般的性質（硬化膨張）
	26	5	模型材	石膏の一般的性質（圧縮強さ）
	30	6	原型材料	歯科用ワックスの種類と用途・歯科用ワックスの組成・歯科用ワックスの性質（所要性質・軟化温度）
5月	9	7	原型材料	歯科用ワックスの性質（熱膨張と収縮・フロー・内部応力と変形・）
	10	8	物質の構造	原子間結合・材料の種類と性質（物質の状態・高分子材料・セラミックス材料・金属材料）
	16	9	機械的性質	応力とひずみ・弾性と塑性・応力ひずみ曲線・展性と延性
	17	10	機械的性質	弾性係数・レジリエンスと靭性・曲げ強さ・疲労限
	23	11	機械的性質	衝撃強さ・クリープ・粘弾性・硬さ
	24	12	物理的性質	熱膨張・熱伝導・光
	30	13	化学的性質	接　着（腐食は後期）
	31	14	義歯床用レジン	加熱重合レジンの組成・重合反応
6月	6	15	義歯床用レジン	加熱重合レジンの混和・変形・気泡
	13	16	義歯床用レジン	常温重合レジンの組成・加熱重合レジンとの比較
	14	17	義歯床用レジン	その他床用レジン（ポリカーボネート・ポリスルフォン・ポリエーテルスルフォン）、人工歯・裏装材
	19	18	印象材	印象材の分類・ハイドロコロイド印象材
	21	19	印象材	ゴム質印象材・非弾性印象材
	26	20	印象材	寸法安定性・弾性ひずみ
	28	21	印象材	固定操作と模型材
7月	5	22	歯冠用硬質レジン	硬質レジンの組成・重合・金属との結合

	12	23	歯科用陶材	組成・成型法
	19	24	歯科用陶材	陶材の分類・築盛・コンデンス
	23	25	歯科用陶材	焼成・気泡・強度
9月	6	26	まとめ	前期試験対策
	13	27	金属焼付用陶材	金属と陶材の結合・ディギャッシング
10月	2	28	金属焼付用陶材	焼付用合金の所要性質
	4	29	その他のセラミックス	ジルコニアの性質・e-max
	11	30	金　属	歯科用の金属元素・歯科用合金（鋳造用・加工用）
	16	31	金　属	金の添加元素・金合金の種類（カラット・タイプ別・陶材焼付用）
	18	32	金　属	金銀パラジウム合金・銀合金の種類
	23	33	金　属	非貴金属合金の組成と性質
	25	34	鋳造・埋没材	鋳造理論・石膏系埋没材
	30	35	埋没材	非石膏系埋没材
11月	6	36	埋没材	通気性・強さ・スプルー・エアベント
	8	37	埋没材	円錐台・鋳造リング・緩衝材・界面活性剤・湯溜まり・鋳型の加熱
	13	38	鋳　造	鋳造機の熱源
	15	39	鋳　造	鋳造機の鋳込み方法
	20	40	鋳造欠陥	鋳巣・鋳込み不足
	22	41	鋳造欠陥	背圧多孔・鋳肌あれ・ホットスポット・バリ・突起
12月	4	42	鋳造欠陥	偏析・適合不良・変　形
	6	43	鑞付け	鑞付けの原理
	11	44	鑞付け	鑞付けの原理
	13	45	金属の加工	加工硬化・焼き鈍し
	18	46	熱処理	軟化熱処理・硬化熱処理
1月	8	47	補綴物の仕上げ	研磨材の種類
	10	48	補綴物の仕上げ	研磨効率・電解研磨
	15	49	補綴物の仕上げ	電気化学的腐食
	17	50	補綴物の安定性	腐食の種類
	22	51	補綴物の安定性	腐食の抑制
	24	52	補綴物の安定性	高分子・セラミックの安定性
	29	53	まとめ	後期の試験対策

シラバス（実習計画）

2024年度

学科目	歯科理工学 （実習）	学年	1年	学期	前、後期
担当者	木村卓也　杉原睦美	単位数	3単位	55回	136時間
実務経験	病院				
実習課題	基礎、石膏、レジン、ワックス、印象材、埋没材、硬質レジン、陶材、熱処理、鑞付け、インプラント				
実習目的	各種歯科材料の性質を理解し、取り扱いに慣れる。				
到達目標	各種歯科材料の特性と成型法を修得することにより臨床応用することができる。				
指導上の留意点	各種歯科材料の特性と成型方法の指導に重きを置く。				
評価方法	課題作品（レジン床、屈曲）とレポートを評価対象とする。				
使用教材	実習帳　広島歯科技工士専門学校編集				
実習内容					

月	回数	ステップ	進度の目安	時間
4月	1	基　礎	機械器具の整理	4時間
	2		（レジン成形）ろう義歯の製作	2時間
	3		（レジン成形）ろう義歯の一次埋没	2時間
	4		（レジン成形）ろう義歯の二次埋没	2時間
	5		（レジン成形）ろう義歯のろう抜き／（鋳造）クラウンのろう型採得	4時間
	6		（レジン成形）レジン填入～重合	2時間
	7		（鋳造）クラウン埋没	2時間
	8		（レジン成形）義歯の割り出し～義歯の研磨	4時間
5月	9		（鋳造）クラウンの鋳造	2時間
	10		（鋳造）クラウンの研磨	4時間
	11	石　膏	石膏の硬化時間／圧縮試験試料製作	2時間
	12		石膏の硬化膨張／硬化膨張	4時間
	13		石膏の硬化膨張／石膏の圧縮試験試	2時間
	14	レジン	模型床の寸法精度　ろう型採得～一次埋没	4時間
	15		模型床の寸法精度　二次埋没	2時間
	16		模型床の寸法精度　ろう抜き／粉液の膨潤時間	4時間
6月	17		模型床の寸法精度　填入～重合～冷却	2時間
	18		模型床の寸法精度　割り出し～測定～保存	2時間
	19		模型床の寸法精度　測定～切断～測定～連結	4時間
	20		研磨	2時間
	21	ワックス	ワックスの応力緩和	4時間
	22		ワックスパターンの変形	2時間
	23		ワックスパターンの変形／まとめ	4時間
	24	屈　曲	金属線の屈曲　練習課題	2時間
	25		金属線の屈曲　まとめ課題	2時間
	26	印象材	アルジネート印象材の寸法制度	2時間
	27		複模型の寸法制度／寒天印象材のゲル化温度	4時間
	28		寒天印象材のゲル化温度	2時間
	29		模型の表面状態	2時間

	30		各種弾性印象材の弾性比較	2時間
	31		まとめ	2時間
	32	硬質レジン	硬質レジンの成分／硬質レジンの取り扱い	4時間
9月	33	陶　材	歯科用陶材の成分／取り扱い	2時間
	34		陶材焼付金属冠	2時間
	35	鋳　造	鋳造圧・湯道・鋳型温度が鋳造に及ぼす影響　埋没	4時間
	36		スプルーの太さが鋳巣に及ぼす影響　埋没	2時間
	37		A鋳造／B鋳造	2時間
	38		鋳造精度クラウン①　埋没／ABまとめ	4時間
10月	39		鋳造精度クラウン①　鋳造／鋳造精度クラウン②　埋没	2時間
	40		鋳造精度クラウン②　鋳造	2時間
	41		鋳造精度インレー①　埋没	2時間
	42		鋳造精度インレー①　鋳造	2時間
	43		鋳造精度まとめ	2時間
	44	埋没材	埋没材の硬化膨張①／②	2時間
	45		埋没材の成分	2時間
11月	46		埋没材の取扱い	2時間
	47	鑞付け	クラウンの鑞付け　埋没	2時間
	48		クラウンの鑞付け　鑞付け	2時間
	49		クラウンの鑞付け　鑞付け	2時間
	50	熱処理	銅板の加工硬化・焼きなまし	2時間
	51		金銀パラジウム合金の軟化熱処理	2時間
	52		金銀パラジウム合金の硬化熱処理	2時間
	53	インプラント	インプラントの基礎	2時間
	54	CAD/CAM	CAD/CAM	2時間
12月	55	まとめ	理工実習まとめ	2時間

シラバス（講義計画）

2024年度

学 科 目	有床義歯技工学	学年	１年	学期	前期
担 当 者	赤川　安正	単位数	２単位	１５回	３０時間
実務経験	大学、病院				
講義目的 到達目標	歯の欠損に対する有床義歯技工学の意義と目的、全部床義歯の製作に関する知識と技工操作を理解する。 １：有床義歯技工学の意義と目的を説明できる。 ２：全部床義歯の製作手順と技工作業を説明できる。				
指導上の留意点	視覚教材（パワーポイントや技工物など）を多用し、わかりやすく講義する。				
評価方法	出席状況、授業態度、試験の成績を総合的に評価する。				
使用教材	最新歯科技工士教本　有床義歯技工学				

講義内容

月	日	回数	講義項目	備　　考
４月	16	1	有床義歯技工の概説	
	23	2	生体の基礎知識１	
５月	7	3	生体の基礎知識２	
	14	4	全部床義歯の特性、製作順序	
	21	5	印象採得に伴う技工	
	28	6	咬合採得に伴う技工１	作業用模型、咬合床
６月	4	7	咬合採得に伴う技工２	咬合器装着
	11	8	人工歯排列（前歯）	
	18	9	人工歯排列（臼歯）、歯肉形成	
	25	10	埋没、重合	
７月	2	11	咬合器再装着、削合、研磨	
	9	12	装着、調整	
	16	13	まとめ１	
９月	3	14	まとめ２	
	10	15	まとめ３	
	26		前期試験	

シラバス（講義計画）

2024年度

学 科 目	有床義歯技工学	学年	１年	学期	後期
担 当 者	赤川　安正	単位数	２単位	１５回	３０時間
実務経験	大学、病院				
講義目的 到達目標	部分床義歯の特性と製作に関する知識と技工操作を理解する。 １：部分床義歯の特性を説明できる。 ２：部分床義歯の構成要素を列挙できる。 ３：部分床義歯の製作手順と技工作業を説明できる。				
指導上の留意点	視覚教材（パワーポイント、技工物など）を多用して、わかりやすく講義する。				
評価方法	出席状況、授業態度、試験の成績を総合して評価する。				
使用教材	最新歯科技工士教本　有床義歯技工学				

講義内容

月	日	回数	講義項目	備　　考
10月	1	1	部分床義歯の特性、製作順序	
	8	2	構成要素：支台装置１	
	15	3	構成要素：支台装置２	
	22	4	構成要素：連結子、義歯床、人工歯	
	29	5	印象採得と咬合採得に伴う技工作業	
11月	5	6	クラスプの製作	
	12	7	バーの製作、人工歯排列、削合、歯肉形成	
	19	8	埋没、重合、咬合調整、研磨	
	26	9	義歯の修理、リベース、リライン	
12月	3	10	オーバーデンチャー、金属床義歯	
	10	11	その他の有床義歯	ノンメタルクラスプデンチャー
	17	12	まとめ１	
１月	7	13	まとめ２	
	14	14	まとめ３	
	21	15	まとめ４	
２月	5		後期試験	

シラバス（実習計画）

２０２４年度

科 目 名	有床義歯技工学　（実習）	学年	１学年	学期	前・後期
担 当 者	杉原睦美・木村卓也	単位数	６単位	83回	314時間
実務経験	歯科技工所				
実習課題	①全部床義歯用個人トレー（上下顎） ②全部床義歯（上下顎） ③部分床義歯用個人トレー（上顎） ④支台装置　鋳造鉤２本（直接法・間接法） 線鉤２本（レスト板圧接法・レスト鋳造法） ⑤鋳造鉤形態習得（ろう型採得６種） （エーカースクラスプ・コンビネーションクラスプ・リングクラスプ・ バックアクションクラスプ・双子鉤・ＲＰＩクラスプ） ⑥一本義歯２床（アメリカ式埋没法・フランス式埋没法） ⑦鋳造パラタルバー（ろう型採得） ⑧鋳造リンガルバー（鋳造完成） ⑨部分床義歯（下顎） （レスト鋳接法・レスト板圧接法・屈曲リンガルバー・アメリカフランス併用式埋没法）				
実習目的 到達目標	①有床義歯の目的・構成および製作に関する知識について理解する。 ②義歯の製作について生物学的および理工学的な理論に基づいた実技を習得し、 その専門的技術を適応できる能力を養う。				
指導上の 留意点	義歯関連作品の製作を通じて、構成材料の名称および使用目的の把握と使用材料の取り扱いに関する技量について学生個々の習得状況を観察しながら、個々に適応した指導に努める。				
評価方法	＊以下の作品の総合評価とする。 ①全部床義歯用個人トレー（上下顎） ②全部床義歯製作過程の咬合床（上下顎） ③全部床義歯（上下顎） ④部分床義歯用個人トレー（上顎） ⑤支台装置　鋳造鉤２本 線鉤２本 ⑥鋳造鉤形態習得（ろう型採得６種） ⑦鋳造パラタルバー（ろう型） ⑧鋳造リンガルバー（完成） ⑨部分床義歯製作過程の咬合床（下顎） ⑩部分床義歯（下顎）				
使用教材	各実習テキスト・教科書				
実習内容	実習内容については別紙に示す。				

実習内容

有床義歯技工学 （実習）

月	回数	実習課題	進行の目安	時間数
4月	第1回	全部床個人トレー	設計	2時間
	第2回		リリーフ・スペーサー・ストッパー	4時間
	第3回		レジン圧接・柄とフィンガーレストの付与	4時間
	第4回		形態修正	4時間
	第5回		研磨	4時間
	第6回		模型処理	2時間
5月	第7回	全部床義歯	設計・リリーフ・ポストダム	4時間
	第8回		基礎床圧接・形態修正・バイトリム取り付け・上下顎の高さ調整	4時間
	第9回		上顎咬合堤の作図・形成	4時間
	第10回		下顎咬合堤の作図・形成	4時間
	第11回		咬合器装着	4時間
	第12回		咬合堤の修正	4時間
	第13回		咬合堤の修正完了	4時間
	第14回		上下顎前歯部排列	4時間
	第15回			2時間
6月	第16回		上顎臼歯部排列	4時間
	第17回		下顎臼歯部排列	4時間
	第18回		上顎歯肉形成	4時間
	第19回		テンチの歯型採得・下顎歯肉形	4時間
	第20回			2時間
	第21回		埋没	4時間
	第22回		脱ろう・レジン填入・重合	4時間
	第23回			2時間
	第24回		割り出し・形態修正	4時間
	第25回		研磨	4時間
	第26回			2時間
7月	第27回		ボクシング・模型調整完了・咬合器再装着	4時間
	第28回		咬合器再装着完了	4時間
	第29回		選択削合（咬頭嵌合位・側方運動・前方運動）	4時間
	第30回			2時間
	第31回		自動削合	4時間
	第32回		人工歯形態修正・研磨	4時間
	第33回			4時間
	第34回	部分床個人トレー	サベイング・設計	4時間
	第35回		リリーフ・ブロックアウト	4時間
	第36回			4時間
	第37回			4時間
9月	第38回		スペーサー・ストッパー	4時間
	第39回		レジン圧接・柄の付与・形態修正・研磨	2時間
	第40回		維持・コンパウンドの付与	4時間
	第41回		模型処理	2時間
	第42回	実習前準備	レスト座形成	4時間
	第43回	支台装置	サベイング・設計	4時間
	第44回		ブロックアウト・リリーフ・線鉤屈曲開始	4時間
	第45回			4時間
	第46回			2時間
10月	第47回		耐火模型製作・線鉤7屈曲完了	4時間
	第48回		鋳造鉤7・線鉤7レストろう型採得	4時間
	第49回		鋳造鉤5ろう型採得・埋没・線鉤5屈曲完了	4時間
	第50回		レストシート圧接・埋没・鋳造完了	4時間
	第51回		レストろう着完了・クラスプ形態修正・研磨	4時間
	第52回		線鉤と鋳造レスト仮着・クラスプ完成	4時間
	第53回		排列・歯肉形成	4時間
	第54回		歯肉形成完了・埋没前準備	4時間

11月	第55回	一本義歯	埋没	4時間
	第56回		脱ろう・レジン填入・重合	4時間
	第57回		割り出し・形態修正・研磨	4時間
	第58回	鋳造鉤形態習得	コンビネーションクラスプ・エーカースクラスプ	4時間
	第59回		双子鉤・バックアクションクラスプ	4時間
	第60回		リングクラスプ・RPIクラスプ	4時間
	第61回	部分床義歯	サベイング・設計・ブロックアウト	4時間
12月	第62回		咬合床開始	4時間
	第63回		咬合床完成	4時間
	第64回		咬合器装着	4時間
	第65回		サベイング・設計	4時間
1月	第66回		ブロックアウト・リリーフ・リンガルバー屈曲開始	4時間
	第67回		線鉤5・線鉤4屈曲（各40分）＊残り時間で修正	4時間
	第68回	鋳造バー・試験対策	設計・リリーフ・リンガルバーろう型採得	4時間
	第69回		模試Ⅰ・リンガルバー埋没	4時間
	第70回		リンガルバー鋳造・耐火模型製作・模試Ⅰの修正	4時間
	第71回		模試Ⅱ・パラタルバーろう型採得	4時間
	第72回		形態修正・研磨・模試Ⅱの修正	4時間
	第73回	試験対策	模試Ⅲ	4時間
2月	第74回		模試Ⅲの修正	6時間
	第75回	部分床義歯	鋳造鉤7・線鉤5レストろう型採得・埋没	4時間
	第76回		線鉤4レストシート圧接・埋没・鋳造	4時間
	第77回		レストろう着	4時間
	第78回		クラスプ・バー完成	4時間
3月	第79回		排列前準備・排列開始	4時間
	第80回		埋没前準備・埋没	4時間
	第81回		脱ろう・レジン填入・重合	4時間
	第82回		割り出し・形態修正・研磨	4時間
	第83回		全作品提出	4時間

シラバス（実習計画）

2024年度

学 科 目	有床義歯技工学	学年	2年	学期	前期
担当者	荒谷　康徳　山﨑　浩希	単位数	6単位　139回　（278時間）		
実務経験	歯科技工所で勤務				
実習目的 到達目標	①有床義歯の目的および製作に関する知識について理解させる。 ②有床義歯の製作について生物学的な理論と理工学的な理論に基づいた実技を習得し、 その専門的技術を適用できる能力を養わせる。 ③研修旅行				
評価方法	実習課題などの提出物の成績に、レポートなどの成績を加味して評価				
使用教材	最新歯科技工士教本　有床義歯技工学　　本校作成の実習帳				
使用教室	4F　技工実習室　　鋳造研磨室				

実習回数	実習時間	期間	実習課題
4	8	4月9日	1. 模型製作
23	46	4/11～5/1	2. 金属床義歯　（MP） 上顎　金属床製作
6	12	4/11～4/23	3. 咬合床ブロック
31	62	5/7～6/13	4. 全部床義歯　（FD）
30	60	6/13～7/16	5. 部分床義歯Ⅰ（PD-Ⅰ） 上顎　部分床義歯
21	42	9/5～9/21	6. 金属床義歯（MPD）
16	32	5/7、5/16 6/18～9/13	7. 人工歯排列（下顎法）
8	16	5月2日 9/2、9/3	8. オリエンテーション 研修旅行
139	278		

シラバス（実習内容）

2024年度　前期

実習課題	1. 模型製作				
実習目的 到達目標	前期で使用する作業用模型を製作する 各補綴物を正確に製作することができる作業用模型を製作することができる				
指導上の 留 意 点	別紙、製作表に照らし合わせ、注意事項を説明 基底部の状態を指示、番号の記入、トリマー1台は予約制				
学校準備品 使用教材	製作表、実習帳配布、トリマー予定表				
実習回数	実習時間	実習期間		実習ステップ	デモ
4	8	4月9日		作業用模型製作→各実習帳に検印	

シラバス（実習内容）

2024年度　前期

実習課題	2. 金属床義歯Ⅰ（MP）
実習目的 到達目標	上顎全部床義歯の金属床の製作方法を習得する 金属床の製作方法を修得するとともに加圧吸引型高周波鋳造機について学ぶ
指導上の 留 意 点	各種、機械、器具、材料の使用方法を指導する
学校準備品 使用教材	シリコーンゴム印象材、シリコンフラスコ、練和ヘラ、計量カップ、耐火埋没材、専用液 乾燥機、ワックスバス、コーティングワックス、リングレスリング、メタル、高速レーズ、研磨材、 電解研磨機、電解液、大型サンドブラストター、大型ファーネス、高温鋳造機、攪拌機（大2小2）

実習回数	実習時間	実習期間		実習ステップ	デモ
23	46	4/11～5/1	1	石膏模型の製作	4/11 ① スライド
			2	床外形線の記入	4/11 ①
			3	後提法の付与	↓
			4	緩衝と填塞	4/11 ②
			5	複印象採得	4/11 ④
			6	耐火模型の製作	4/16 ①
			7	耐火模型の表面処理	4/16 ③
			8	床外形線の転写	↓
			9	蠟型採得	4/16 ④
			10	スプルーの植立	4/22 ③
			11	蠟型埋没	4/23 ①
			12	焼却・鋳造	4/25 ①
			13	金属床の研磨（形態修正）	4/25 ③
			14	電解研磨	4/30 ①
			15	金属床の研磨（仕上げ）	↓
			16	完　成	

シラバス（実習内容）

2024年度　前期

実習課題	3. 咬合床ブロック				
実習目的 到達目標	人工歯排列実習で用いるろう堤の型を作製する				
指導上の 留 意 点					
学校準備品 使用教材					
実習回数	実習時間	実習期間		実習ステップ	デモ
6	12	4/11～4/23	1	模型製作	
			2	ブロック用咬合床	
			3	咬合器装着	
			4	完成	

シラバス（実習内容）

2024年度　前期

実習課題	4. 全部床義歯（FD）
実習目的 到達目標	臨床的模型による上下顎全部床義歯（下顎法）の製作方法を習得する 平衡咬合を与える人工歯排列、削合とそれに伴う技工操作を習得する
指導上の 留 意 点	下顎法による排列と削合の理論を指導する 1年次の復習として指導する　排列以降は個人差が出てくるので個々に指導する
学校準備品 使用材料	サベイヤー、脱ろう機、重合鍋、油圧プレス、カーボランダム泥、レーズ F-2U. L

実習回数	実習時間	実習期間		実習ステップ	デモ
31	62	5/7～6/13	1	模型の製作	
			2	設　計	5/7 ③
			3	平行測定	5/7 ③'
			4	添窩部填塞と緩衝	5/7 ④
			5	後提法の製作	↓
			6	咬合床の製作	5/9 ①
			7	咬合器装着（ハンディーNo.1）	↓
			8	咬合床の修正	
			9	排　列　上顎前歯	
			10	排　列　下顎前歯	
			11	排　列　下顎臼歯	
			12	排　列　上顎大1大臼歯	
			13	排　列　上顎臼歯	
			14	歯肉形成：蠟義歯の完成	
			15	蠟義歯のフラスコ埋没の前準備	
			16	蠟義歯のフラスコ埋没	
			17	流蠟・分離剤の塗布	
			18	レジン予備重合	
			19	レジン填入	
			20	レジン本重合	
			21	咬合器再装着	
			22	選択削合：咬頭嵌合位	
				選択削合：側方運動（作業側と平衡側）	
				選択削合：前方運動	
			23	自動削合	
			24	形態修正（排出路の形成）	
			25	研　磨	
			26	完　成	

シラバス（実習内容）

2024年度　前期

実習課題	5. 部分床義歯（上顎）（PD）
実習目的 到達目標	部分床義歯の構成を理解するとともに、その製作法を習得する 咬合採得と咬合器装着の関係を理解する 人工歯排列とコア採得を修得する。コンビネーション鉤の製作を習得する
指導上の 留 意 点	人工歯排列をコア採得、スプリットキャスト法にる埋没、鉤のろう付けの指導をする。 咬合採得～咬合器装着方法を理解させる
学校準備品 使用材料	咬合提、サベイヤー、リリーフ、支台装置、熱処理、パラタルバー、埋没、研磨） サベイヤー、脱ろう機、重合鍋、油圧プレス、レーズ P-1U、 500A-L

実習回数	実習時間	実習期間		実習ステップ	デモ
30	60	6/13～7/16	1	模型の製作	
			2	平行測定①	6/13 ③
			3	咬合床の設計	↓
			4	咬合床のブロックアウト及びリリーフ	6/13 ④
			5	咬合床製作	6/18 ③
			6	咬合採得、咬合器装着	↓
			7	人工歯排列	
			8	歯肉形成：ろう義歯の完成	
			9	コア採得	6/20 ③
			10	平行測定②	
			11	設　計	6/20 ④
			12	ブロックアウトおよびリリーフ	↓
			13	支台装置製作	
			14	鋳造鉤の熱処理	
			15	パラタルバー製作	
			16	人工歯再排列	7/2 ③
			17	歯肉形成およびろう義歯の完成	
			18	ろう義歯埋没の前準備	
			19	ろう義歯のフラスコ埋没	
			20	流ろう・分離剤の塗布	
			21	レジン填入	
			22	レジン重合	
			23	咬合器再装着	
			24	咬合調整	
			25	形態修正	
			26	研　磨	
			27	完　成	

シラバス（実習内容）

2024年度　前期

実習課題	6. 金属床義歯（MPD）
実習目的 到達目標	金属床義歯の構成を理解するとともに、その製作法を習得する 金属床義歯の製作方法の習得
指導上の 留 意 点	5月に製作した金属床フレームを使用して全部床義歯を完成させる 人工歯排列の復習を兼ねた指導をする
学校準備品 使用材料	人工歯、脱ろう機、重合鍋、油圧プレス、レーズ 503-L　咬合採得用に咬合器に装着された模型

実習回数	実習時間	実習期間		実習ステップ	デモ
21	42	9/5～9/24	1	模型の製作	
			2	設計（咬合床）	
			3	咬合床製作	
			4	咬合採得	夏休み迄
			5	咬合器装着	
			6	人工歯排列	
			7	ろう義歯完成（口腔内試適）	
			8	辺縁封鎖	
			9	フラスコ埋没前処置	
			10	フラスコ埋没	
			11	流ろう・分離剤の塗布	
			12	レジン重合	
			13	咬合器再装着	
			14	咬合調整・人工歯形態修正	
			15	研磨	
			16	完成	

シラバス（実習内容）

2024年度　前期

実習課題	7. 人工歯排列
実習目的 到達目標	人工歯排列～歯肉形成を習得する 人工歯排列、歯肉形成を正確にかつ時間内に完成することができる
指導上の 留 意 点	180分から徐々に時間短縮を行い,150分での完成を目標とする
学校準備品 使用教材	G-Cリブデント

実習回数	実習時間	実習期間		実習ステップ	デモ
16	32	5月7日	1	前歯部排列	5/7 ①
			2	臼歯部排列	5/7 ②
		5月16日	3	歯肉形成	5/16 ①
			4	完成	
		6月18日			
		6月25日			
		7月2日		180分	
		7月9日		170分	
		9月5日		160分	
		9月13日		150分	

シラバス（実習内容）

2024年度　前期

実習課題	8. オリエンテーション・研修旅行				
実習目的 到達目標	オリエンテーションや研修旅行を通じて、円滑な人間関係等を構築する				
指導上の 留 意 点					
学校準備品 使用教材					
実習回数	実習時間	実習期間		実習ステップ	デモ
8	16	5月2日		オリエンテーション	
		9/2、9/3		研修旅行	

シラバス（講義計画）

2024年度

学 科 目	歯冠修復技工学	学年	１年	学期	前期
担 当 者	赤川　安正	単位数	２単位	１５回	３０時間
実務経験	大学、病院				
講義目的 到達目標	歯質と少数歯欠損に対する歯冠修復技工学の意義と目的、クラウン･ブリッジの製作に関する知識と技工操作を理解する。 １：クラウンの種類と特徴、技工作業を説明できる。 ２：ブリッジの種類と特徴、技工作業を説明できる。				
指導上の留意点	視覚教材（パワーポイント、技工物など）を多用して、わかりやすく講義する。				
評価方法	出席状況、授業態度、試験の成績を総合して評価する。				
使用教材	最新歯科技工士教本　歯冠修復技工学				

講義内容

月	日	回数	講義項目	備　　考
４月	16	1	歯冠修復技工学の概要	
	23	2	クラウンの概要と種類１	部分被覆冠
５月	7	3	クラウンの概要と種類２	全部被覆冠
	14	4	ブリッジの概要と種類	
	21	5	クラウンとブリッジの具備要件	
	28	6	クラウンとブリッジの製作１	プロビジョナルレストレーション・ブリッジ
6月	4	7	クラウンとブリッジの製作２	色調選択～クラウンに与える咬合
	11	8	クラウンとブリッジの製作３	ワックスパターン形成、埋没
	18	9	クラウンとブリッジの製作４	鋳造作業、連結法
	25	10	クラウンとブリッジの製作５	調整～試適・仮着・合着
７月	2	11	クラウンとブリッジの製作６	レジン前装～クラウンの不具合の原因
	9	12	まとめ１	
	16	13	まとめ２	
９月	3	14	まとめ３	
	10	15	まとめ４	
	26		前期試験	

シラバス（講義計画）

2024年度

学 科 目	歯冠修復技工学	学年	１年	学期	後期
担 当 者	赤川　安正	単位数	２単位	１５回	３０時間
実務経験	大学、病院				
講義目的	部分・全部被覆冠、ブリッジ、インプラント上部構造の製作に関する知識と技工操作を理解する。				
到達目標	１：部分被覆冠、全部被覆冠、ブリッジの製作手順と技工作業を説明できる。 ２：インプラントとCAD/CAMを説明できる。				
指導上の留意点	視覚教材（パワーポイント、技工物など）を多用して、わかりやすく講義する。				
評価方法	出席状況、授業態度、試験の成績を総合して評価する。				
使用教材	最新歯科技工士教本　歯冠修復技工学				

講義内容

月	日	回数	講義項目	備　　考
10月	1	1	歯冠修復物と部分被覆冠	
	8	2	全部被覆冠１	全部金属冠、前装冠
	15	3	全部被覆冠２	前装冠、ジャケットクラウン
	22	4	ブリッジ１	支台装置、ポンティック
	29	5	ブリッジ２	連結法、ブリッジの製作法
11月	5	6	ブリッジ３	接着ブリッジの製作法
	12	7	インプラント１	インプラントの歴史と現在
	19	8	インプラント２	インプラントの概要～治療の流れと歯科技工
	26	9	インプラント３	インプラントの種類～上部構造製作技工
12月	3	10	CAD/CAM	
	10	11	まとめ１	
	17	12	まとめ２	
１月	7	13	まとめ３	
	14	14	まとめ４	
	21	15	まとめ５	
２月	5		後期試験	

シラバス（実習計画）					2024年度
学 科 目	歯冠修復技工学 （実習）	学年	1年	学期	前、後期
担 当 者	木村卓也　杉原 睦美	単位数	5単位	66回	248時間
実務経験	病院、歯科技工所				
実習課題	分割復位式模型　全部金属冠　前装冠模刻　メタルコア　部分被覆冠				
	ブリッジの歯型可撤式模型				
実習目的	歯冠修復技工学に関する総合的な事柄を学ぶ。				
到達目標	分割復位式模型　全部金属冠　メタルコア 部分被覆冠の製作ができる。				
指導上の留意点	歯冠修復関連の総合的な指導をするとともにろう型採得を繰り返し練習する。				
評価方法	全部金属冠　メタルコア　部分被覆冠の総合評価とする。				
使用教材	実習帳　広島歯科技工士専門学校編集				
実習内容					

月	回数	ステップ	進度の目安	時間数
9	1	分割復位式模型	ダウエルピン植立～ボクシング（実習用）	2時間
	2		歯型分割	2時間
	3		トリミング	4時間
	4		南加大式咬合器装着	4時間
	5			4時間
	6		クラウン模型Ⅱ	4時間
10	7	全部金属冠	ワックス盛り上げ練習	2時間
	8			2時間
	9			2時間
	10		外形練習	2時間
	11		クラウン模型Ⅲ～Ⅳ（ダウエルピン石膏）	2時間
	12			4時間
	13		主溝形成練習	2時間
	14			2時間
	15			4時間
11	16		ろう型完成練習	2時間
	17		部分被覆冠模型　1級、2級	2時間
	18			2時間
	19			4時間
	20		ろう型～埋没～鋳造Ⅰ	2時間
	21		部分被覆冠模型　MOD、3/4（モデルフォーマー）	2時間
	22		研磨Ⅰ	6時間
	23			6時間
	24		ろう型～埋没～鋳造Ⅱ	4時間
12	25		クラウン模型Ⅱ～Ⅳ咬合器装着	2時間
	26		研磨Ⅱ	6時間
	27			4時間
	28		ろう型～埋没～鋳造Ⅲ　　試験用模型	2時間

	29			6時間
	30		研磨Ⅲ　　メタルコア模型	2時間
	31		ろう型～埋没～鋳造Ⅳ	2時間
	32			2時間
	33		研磨Ⅳ	6時間
	34			4時間
1	35		クラウンⅡ	4時間
	36		クラウンろう型採得模擬試験Ⅰ	4時間
	37			2時間
	38			4時間
	39		クラウンⅢ	4時間
	40		クラウンろう型採得模擬試験Ⅱ	2時間
	41			4時間
	42			2時間
	43			4時間
	44		クラウンⅣ	2時間
	45		クラウンろう型採得模擬試験Ⅲ	8時間
	46			2時間
	47			4時間
2	48	メタルコア	メタルコアろう型採得	4時間
	49			4時間
	50		メタルコア鋳造～形態修正	4時間
	51		臼歯ブリッジ模型	4時間
	52	前装冠	前装冠模刻～鋳造	4時間
	53		前歯ブリッジ模型	8時間
	54	部分被覆冠	部分被覆冠蝋型採得～埋没	4時間
	55			4時間
	56		部分被覆冠鋳造～研磨	4時間
	57			4時間
3	58			4時間
	59			4時間
	60			4時間
	61			4時間
	62			8時間
	63			8時間
	64			4時間
	65			8時間
	66			4時間

シラバス（実習計画）

2024年度

学 科 目	歯科技工実習	学年	2年	学期	前期
担当者	荒谷　康徳　山﨑　浩希	単位数	1単位	37回	（74時間）
実務経験	歯科技工所で勤務				
講義目的 到達目標	歯科技工全般にわたって反復練習により基本的な技術を習得させる				
評価方法					
使用教材	本校作成の実習帳				
使用教室	4F　技工実習室　　第二教室				

実習回数	実習時間	実習期間	実習課題
9	18	4/25～9/18	1. 歯型彫刻
6	12	4/19、5/23 5月30日	2. 就職ガイダンス 会社説明会
4	8	6月7日	3. 課外授業
6	12	1班　6/17、6/19 2班　6/21、6/24	4. CAD/CAM実習
8	16	5月28日 9月20日	5. 特別講義 顎顔面補綴、匠の技愛歯
2	4	7月24日	6. 大掃除
2	4	9月4日	7. 全国技工士学校協会模試
37	74		

シラバス（実習内容）

2024年度　前期

実習課題	1. 歯型彫刻（9本）				
実習目的 到達目標	歯型彫刻の習得				
指導上の 留意点	最初はスケッチ･模型等を参考にしながら形態を覚える。9月までは予告有り 40分で1本　→30分で1本　順々にスピードアップ				
学校準備品 使用材料					
実習回数	実習時間	実習期間		実習ステップ	デモ
9	18	4/25～9/18		歯型彫刻　予告有り	

シラバス（実習内容）

2024年度　前期

実習課題	2. 就職ガイダンス・会社説明会				
実習目的 到達目標	就職に関しての知識を学ぶ				
指導上の 留意点					
学校準備品 使用材料					
実習回数	実習時間	実習期間		実習ステップ	デモ
6	12	4/19、5/23		就職ガイダンス	
		5月30日		会社説明会	

シラバス（実習内容）

2024年度　前期

実習課題	3. 課外授業				
実習目的 到達目標	遠足を通して周辺地域を深く学ぶ				
指導上の 留意点					
学校準備品 使用材料					
実習回数	実習時間	実習期間		実習ステップ	デモ
4	8	6月7日		課外授業	

シラバス（実習内容）

2024年度　前期

実習課題	4. CAD/CAM実習
実習目的 到達目的	歯科用CAD/CAMシステムを理解する CAD/CAMシステムを用いた技工の技術を習得する
指導上の 留意点	デジタル技工の基本操作を指導する。 2つの班に分かれて実習
学校準備品 使用材料	PC、モニター、ディスク、研磨剤、スキャニングパウダー

実習回数	実習時間	実習期間		実習ステップ	デモ
6	12	1班　6/17、6/19	1	模型製作	
		2班　6/21、6/24	2	ワックスアップ	
			3	スキャニング	
			4	基本操作	
			5	設計・臼歯	

シラバス（実習内容）

2024年度　前期

実習課題	5. 特別講義				
実習目的 到達目標	外部の現役技工士や講師による講義＆デモンストレーション 新商品、新機材の取扱い等、時代に即した技工を学ぶ				
指導上の 留意点					
学校準備品 使用材料					
実習回数	実習時間	実習期間		実習ステップ	デモ
8	16	5月28日		顎顔面補綴学	
		9月20日		匠の技 愛歯	

シラバス（実習内容）

2024年度　前期

実習課題	6. 大掃除				
実習目的 到達目標	窓や電灯などの掃除を含めた全体掃除				
指導上の 留意点					
学校準備品 使用材料					
実習回数	実習時間	実習期間		実習ステップ	デモ
2	4	7月24日		大掃除	

シラバス（実習内容）

2024年度　前期

実習課題	7. 全国技工士学校協会模試				
実習目的 到達目標	歯科技工士国家試験の模擬試験 各科目の合格を目指す。各自の学力の総点検				
指導上の 留意点	マークシート方式				
学校準備品 使用材料					
実習回数	実習時間	実習期間		実習ステップ	デモ
2	4	9月4日		全国技工士学校協会模試	

シラバス（講義計画）

2024年度

学 科 目	矯正歯科技工学	学年	１年	学期	後期
担 当 者	小笠原　伯宏	単位数	1単位	10回	２０時間
実務経験	大学、病院				
講義目的 到達目標	矯正歯科技工学に必要な基本的知識を習得する。				
指導上の 留意点	全員が授業に参加できるように教本の読み合いを行う。				
評価方法	期末試験の成績に出席状況を加味する。				
使用教材	最新歯科技工士教本　矯正歯科技工学　医歯薬出版株式会社				
使用教室	第二教室（５F）				

講義内容

月	日	回数	講義項目	備　　考
10月	3	1	１章　矯正歯科治療とは	
			２章　矯正歯科技工学の意義と目的	
		2	３章　正常咬合と不正咬合	
	10	3	４章　矯正歯科治療の進め方	
		4	５章　矯正歯科技工用器具と器械	
			６章　矯正歯科技工の手技	
	17	5	７章　矯正用口腔模型製作	
			８章　矯正装置の必要条件と分類	
		6	９章　矯正装置の製作法（１，２，１３）	
	24	7	９章　矯正装置の製作法（３，４，１４）	
		8	９章　矯正装置の製作法（５，６，７，　８）	
11月	7	9	９章　矯正装置の製作法（９，１０，１１，　１２）	
		10	１０章　保定装置	

シラバス（実習計画）

2024年度

学 科 目	矯正歯科技工学 （実習）	学年	1年	学期	後期
担 当 者	小笠原伯宏　杉原睦美	単位数	1単位	9回	36時間
実務経験	大学、病院				
実習課題	①線屈曲　②自在鑞付け　③舌側弧線装置　④ホーレーの保定装置　⑤アクチバトール				
実習目的	矯正装置・保定装置の製作技術を修得する				
到達目標	各種装置の製作技術を修得する。				
指導上の留意点	デモンストレーションは広島大学歯学部矯正科の講師が行う。				
評価方法	各種装置の課題作品の成績で評価する。 （線屈曲、自在鑞付け、舌側弧線装置、保定装置、アクチバトール）				
使用教材	学校が独自に作成した各実習テキスト 矯正歯科技工学教本　全国歯科技工士教育協議会				

実習内容

月	回数	ステップ	進度の目安	時間
12月	第1回	線屈曲 自在鑞付け	線屈曲 自在鑞付け	4時間
1月	第2回	線屈曲 自在鑞付け アクチバトール	線屈曲 自在鑞付け 構成咬合器装着	4時間
	第3回	舌側弧線装置	バンド調整～S.T.ロックの鑞付け 印象採得～作業用模型	4時間
	第4回		主線・S.T.ロック脚部の屈曲～鑞付け～研磨	4時間
	第5回		補助弾線の屈曲・鑞付け	4時間
2月		ホーレーの保定装置	設計～アダムスのクラスプの屈曲	
	第6回		接歯唇側線の屈曲 レジン床製作	4時間
	第7回		形態修正～研磨	4時間
	第8回	アクチバトール	設計～誘導線の屈曲	4時間
3月	第9回		完成	4時間

シラバス（講義計画）

2024年度

学 科 目	小児歯科技工学	学年	1年	学期	後期
担 当 者	香西　克之	単位数	1単位	5回	20時間
実務経験	大学、病院				
講義目的 到達目標	発育途上の小児の口腔内について理解する。 小児期に特有の治療や、それに用いる歯科技工物について、学ぶ。				
指導上の 留意点					
評価方法	期末試験の成績を中心に，授業中の達成度評価や授業態度を加味して評価する。				
使用教材	最新歯科技工士教本　小児歯科技工学				
使用教室	第二教室（５F）、				

講義内容

月	日	回数	講義項目	備　　考
10月	7	1	小児歯科技工概説	
			歯・顎・顔面の発育１	
	21	2	歯・顎・顔面の発育２	
			小児の歯冠修復、咬合誘導装置の種類	
	28	3	保隙装置１	
			保隙装置２	
11月	11	4	スペースリゲーナー	
			口腔習癖除去装置・咬合誘導装置に用いる維持装置	
	19	5	プレテスト	
			まとめ	

シラバス（実習計画）

２０２４年度

学 科 目	小児歯科技工学　（実習）	学年	１年	学期	後期
担 当 者	香西克之　木村卓也	単位数	１単位	９回	36時間
実務経験	大学、病院				
実習課題	①　スケッチ（下顎右側第一乳臼歯）　②　歯型彫刻（下顎右側第一乳臼歯） ③　クラウンワイヤーループ　④　床型保隙装置（小児義歯）				
実習目的 到達目標	①　永久歯と比較した乳歯の特徴を十分に理解させる。 ②　小児歯科特有の装置である代表的な保隙装置の製作方法を習得させながら、保隙装置のもつ意義を理解させる。				
指導上の留意点	保隙装置は正常な永久歯咬合を導くための装置であることを認識させるためにも、不良箇所についてはその理由を的確に指摘して指導する。				
評価方法	①　講義期間中に課題とした下顎右側第一乳臼歯のスケッチも評価に加える ②　歯型彫刻（下顎右側第一乳臼歯） ③　クラウンワイヤーループ　④　床型保隙装置（小児義歯）				
使用教材	学校が独自に作成した各実習テキスト 小児歯科技工学教本　全国歯科技工士教育協議会				

実習内容

月	回数	実習課題	進 行 の 目 安	時間
12月	1	歯型彫刻（下顎右側Ｄ）	石膏ブロックの調整	４時間
		クラウンワイヤーループ	乳歯冠の調整	
		床型保隙装置（小児義歯）	咬合器装着	
	2	クラウンワイヤーループ	作業用模型作成　（印象～石膏注入～模型調整）	４時間
		歯型彫刻（下顎右側Ｄ）	外形・咬合面・歯根分岐部など詳細部を彫刻 → 完成	
		クラウンワイヤーループ	設計～リリーフ	
	3	クラウンワイヤーループ	ループの屈曲　（ステップ①　完了）	４時間
		クラウンワイヤーループ	鑞着～研磨完了・・・完成	
1月	4	床型保隙装置（小児義歯）	設計～リリーフ～棚付け	４時間
		床型保隙装置（小児義歯）	唇側線の屈曲　開始	
	5	床型保隙装置（小児義歯）	唇側線の屈曲完了	４時間
		床型保隙装置（小児義歯）	ブロックアウト	
2月	6	床型保隙装置（小児義歯）	人工歯排列～頬側へのレジン盛り上げ完了	４時間
	7	床型保隙装置（小児義歯）	唇側線との連結～床部のレジン盛り上げ	４時間
3月	8	床型保隙装置（小児義歯）	歯肉形成（形態修正）	４時間
		床型保隙装置（小児義歯）	研磨	
	9	床型保隙装置（小児義歯）	研磨完了～模型の処理 → 完成	４時間

シラバス（実習計画）

2024年度

学 科 目	歯冠修復技工学	学年	2年	学期	前期
担当者	荒谷　康徳　山﨑　浩希	単位数	6単位	139回	（278時間）
実務経験	歯科技工所で勤務				
講義目的 到達目標	①各種の歯冠修復物及び架工義歯の種類と構成などを理解させる。 ②歯冠修復物及び架工義歯の目的と製作に関する知識を理解させる。 ③歯冠修復物の製作について、理論に基づいた実技を習得し、各種の歯冠修復物の製作。				
評価方法	実習課題などの提出物の成績に、レポートなどの成績を加味して評価				
使用教材	最新歯科技工士教本　歯冠修復技工学　　本校作成の実習帳				
使用教室	4F　技工実習室　鋳造研磨室　ポーセレン室				

実習回数	実習時間	実習期間	実習課題
4	8	4/8、4/10	1. 模型製作
8	16	4/24～5/1	2. プロビジョナルクラウン（Provi）
27	54	5/8～5/29	3. レジン前装冠Ⅰ（HRⅠ）
26	52	5/31～6/24	4. レジン前装冠Ⅱ（HRⅡ） 前歯ブリッジ
19	38	6/26～7/7	5. メタルボンドクラウンⅠ　（MBⅠ） 単冠
35	70	7/8～7/19 9/4～9/18	6. メタルボンドクラウンⅡ　（MBⅡ）
14	28	7/18～7/24	7. クラウン、コア、インレー
6	12	8月30日 9/2、9/3	8. オリエンテーション 研修旅行
139	278		

シラバス（実習内容）

2024年度　前期

実習課題	1. 模型製作				
実習目的 到達目標	前期、後期で使用する作業用模型の製作				
指導上の 留意点	別紙、製作表に照らし合わせ、注意事項を説明 模型の厚み、ボクシング方法、番号の記入 トリマー1台は予約制				
学校準備品 使用材料	ユニティ咬合器（学校貸出し） 製作表、実習帳配布、トリマー予定表				
実習回数	実習時間	実習期間		実習ステップ	デモ
4	8	4/8、4/10		作業用模型製作→各実習帳に検印	

シラバス（実習内容）

2024年度　前期

実習課題	2. プロビジョナルクラウン
実習目的 到達目標	レポートあり（プロビジョナルレストレーションの目的と要件について） 既成レジン歯、常温重合レジンを用いてプロビジョナルクラウンを製作 プロビジョナルクラウンの製作方法の習得
指導上の 留意点	咬合関係・接触状態の指導　適合悪い、接触点が少ない場合は再製 プロビであるため、短時間での製作 前歯のため審美性を考慮すること
学校準備品 使用材料	ゴム枠　41T-14U 既成レジン歯、常温重合レジン、実習帳、（アルジネート印象材）

実習回数	実習時間	実習期間		実習ステップ	デモ
8	16	4/24～5/1	1	作業用模型の製作	↑
			2	トリミング	4/24 ③
			3	レジン歯削合	↓
			4	ブロックアウト	4/24 ④
			5	人工歯排列・仮着	4/26 ①
			6	コア採得	↓
			7	常温重合レジン築盛の前準備	↓
			8	レジン歯のコアへの固定	↓
			9	常温重合レジン築盛	4/26 ③
			10	マージン調整	4/26 ④
			11	形態修正	4/26 ④
			12	コンタクトポイントの修正	↓説明
			13	研磨	↓説明
			14	完成	

シラバス（実習内容）

2024年度　前期

実習課題	3. レジン前装冠Ⅰ（HRⅠ）
実習目的 到達目標	レジン前装冠（単冠）の製作方法を習得 各部位でのフレームの違いを習得、前装レジンの築盛方法の習得
指導上の 留意点	レジン盛上げは上顎前歯のみ リングファーネス使用上の注意
学校準備品 使用材料	ゴム枠　41T-14 UL、 ソリデライト、築盛器具、スライド リテンションビーズ、ソリデックス、研磨用レーズ

実習回数	実習時間	実習期間		実習ステップ	デモ
27	54	5/8～5/29	1	1次石膏の調整	
		5/8①スライド	2	作業用模型製作	
			3	歯型のトリミング	↑
			4	咬合器装着	前日まで
			5	歯冠外形の模刻	スライド
			6	前装部分の窓開け	5/10 ②
			7	維持装置・リムーバルノブ付与	5/10 ③
			8	鋳造・試適	
			9	中研磨	5/13 ③
			10	築盛の前準備	5/13 ④
			11	オペークの築盛・予備重合	5/15 ①
			12	サービカルの築盛・予備重合	↓
			13	ボディーの築盛・予備重合	↓
			14	インサイザルの築盛・予備重合	↓
			15	形態修正	説明
			16	仕上げ研磨	説明
			17	完成	

シラバス（実習内容）

2024年度　前期

実習課題	4. レジン前装冠Ⅱ（HRⅡ）　前歯ブリッジ
実習目的	レジン前装冠（前歯ブリッジ）の製作方法を習得
到達目標	固定性ブリッジ（ろう着法）の習得
指導上の留意点	ポンティックはリッジラップ型 1年次で製作した模型を使用
学校準備品	ゴム枠　広歯技-3、ソリデライト、築盛器具
使用材料	ろう着用埋没材、リテンションビーズ、ソリデックス、研磨用レーズ

実習回数	実習時間	実習期間		実習ステップ	デモ
26	52	5/31～6/24	1	1次石膏の調整	
			2	作業用模型製作	↑
			3	歯型のトリミング	前日まで
			4	歯冠外形の摸刻	6/3 ③
			5	前装部分の窓開け	6/5 ②
			6	連結	6/5 ③
			7	蝋型の分割	6/10 ①
			8	維持装置・リムーバルノブ付与	6/10 ③
			9	鋳造・試適	↓
			10	接触点の調整・鑞着部の荒研磨	6/12 ①
			11	鑞着用ブロック作成	6/12 ②
			12	鑞着・試適	6/12 ③
			13	メタルフレームの中研磨	6/14 ②
			14	築盛の前準備	↓
			15	オペークの築盛・予備重合	
			16	サービカルの築盛・予備重合	
			17	ボディーの築盛・予備重合	
			18	インサイザルの築盛・予備重合	
			19	形態修正	
			20	仕上げ研磨	
			21	完成	

シラバス（実習内容）

2024年度　前期

実習課題	5. メタルボンドクラウンⅠ （MBⅠ） 単冠
実習目的	メタルボンドクラウンの製作方法を習得
到達目標	各種形態のメタルフレームの製作、歯冠色ワックスの盛り上げ法を習得
指導上の	各フレーム（パーシャルベーク・フルベーク）の違いを指導
留意点	歯冠のワックスの盛り上げ時に、温度に注意（丨1 のみ盛り上げ）
学校準備品	ゴム枠　41T-7U.L
使用材料	歯冠色ワックス

実習回数	実習時間	実習期間		実習ステップ	デモ
19	38	6/26～7/7	1	作業用模型製作	
		6/26①スライド	2	歯型のトリミング	
			3	咬合器装着	
			4	歯冠外形の模刻	
			5	前装部分の窓開け	6/26 ④
			6	スプルーイング、リムーバルノブ、ベントスプルー	6/28 ②
			7	鋳造・試適	
			8	メタルフレームの調整	6/28 ②
			9	オペークワックスの盛り上げ	7/1 ①
			10	デンチンワックスの盛り上げ	↓
			11	エナメルワックスの盛り上げ	↓
				完成	

シラバス（実習内容）

2024年度　前期

実習課題	6. メタルボンドクラウンⅡ　（MBⅡ）メタルフレーム
実習目的 到達目標	メタルボンドクラウンの製作方法を習得 ガス-酸素混合炎での鋳造、陶材の盛り上げの習得
指導上の 留意点	ステップ8まで、夏期休暇までの課題 酸素の取扱い、フレームの厚み、ポーセレンファーネスの使用方法
学校準備品 使用材料	ゴム枠　41T-7 U.L ビンテージハロー（A3）、ユニメタル、ガス-酸素混合炎

実習回数	実習時間	実習期間		実習ステップ	デモ
14	28	7/8～7/19	1	作業用模型製作	
			2	歯型のトリミング	
			3	咬合器装着	
			4	歯冠外形の摸刻	↑
			5	前装部分の窓開け	7/8 ③
			6	スプルーイング、リムーバルノブ ベントスプルー	↓埋没
			7	鋳造・試適	7/10 ①
			8	メタルフレームの調整・中研磨	7/10 ③

シラバス（実習内容）

2024年度　前期

実習課題	6. メタルボンドクラウンⅡ（MBⅡ）築盛
実習目的 到達目標	メタルボンドクラウンの製作方法を習得 ガス-酸素混合炎での鋳造、陶材の盛り上げの習得
指導上の 留意点	ステップ9から開始 酸素の取扱い、フレームの厚み、ポーセレンファーネスの使用方法
学校準備品 使用材料	ゴム枠　41T-7 U.L ハロービンテージ（A3）、ユニメタル、ガス-酸素混合炎

実習回数	実習時間	実習期間		実習ステップ	
18	36	9/4～9/18 9/4③　DVD	9	オペーク色陶材の築盛と焼成	9/4 ③
			10	歯頸部色陶材の築盛と焼成	↓
			11	ボディー陶材の築盛	↓
			12	インサイザル陶材の築盛	↓
			13	トランスルーセント陶材の築盛と焼成	↓
			14	形態修正	↓
			15	グレージング	↓
			16	金属部分の仕上げ研磨	↓
			17	完成	

シラバス（実習内容）

2024年度　前期

実習課題	7. クラウン、コア、インレー
実習目的 到達目標	Ⅰ級インレーの製作、コア付全部金属冠の製作、銀合金の鋳造
指導上の 留意点	
学校準備品 使用材料	ゴム枠　41T-13U,L

実習回数	実習時間	実習期間		実習ステップ	デモ
14	28	7/18～7/24	1	作業用模型製作	
			2	歯型のトリミング	
			3	咬合器装着	
			4	コアのろう型採得	7/18 ①
			5	コア鋳造・適合	7/18 ②
			6	研磨	
			7	ろう型採得	
			8	鋳造・適合	
			9	仕上げ研磨	
			10	完成	

シラバス（実習内容）

2024年度　前期

実習課題	8. オリエンテーション・研修旅行				
実習目的 到達目標	オリエンテーションや研修旅行を通じて、円滑な人間関係等を構築する				
指導上の 留 意 点					
学校準備品 使用教材					
実習回数	実習時間	実習期間		実習ステップ	デモ
6	12	8月30日		オリエンテーション	
		9/2、9/3		研修旅行	